

進路通信

5月25日

学部・学問情報

◆ 体育・健康科学… “運動” を科学的に研究する

【学問の内容】

体育・健康科学は、子供から大人までの心身の成長について研究し、人々の健康増進やスポーツの発展をめざす学問です。研究領域は二つに分かれ、運動しているときの身体の構造や動きを研究する**体力論**と、長期にわたって定期的に運動を続けた際の身体の変化を分析し、トレーニング方法を研究する**トレーニング論**があります。

人々の健康志向の高まりや競技スポーツのレベルが高くなっていることなどから、体育・健康科学の研究領域は広がっています。現在では、**スポーツ競技者の育成**や、**トレーニングの指導法**、子どもから高齢者まで楽しめる**生涯スポーツ**などについても研究しています。余暇や健康維持のためにスポーツを楽しむ人が増え、地域社会にも**スポーツ指導者**など専門家の養成が求められています。また商業スポーツ施設が普及し、高度な知識と技術を持つ**スポーツインストラクター**なども必要とされています。人々の健康促進や競技スポーツの発展のため、体育・健康科学はあらゆる場面で欠かせない学問となりつつあるのです。

【卒業後の進路】

スポーツ用品メーカーなどの**一般企業**に就職する人が中心だが、社会生活でのスポーツと健康への関心が高まるなか、地方公共団体や民間のスポーツ施設で**インストラクター**になる人も増えてきている。また、専攻を生かした進路として**体育教員**になる人も多い。大学院に進学する人もいる。

◆ 獣医学…動物の治療と健康を考える

【学問の内容】

獣医学は、**家畜やペットの病気の診断や予防、治療のあり方、家畜の品種改良などを研究していく学問**です。獣医師になるためには、**6年間の獣医学科を卒業し、国家試験を受ける**必要があります。合格すれば、獣医師として動物の診療に携わることになります。

獣医学は、基礎医学や薬学、生物学、動物学と共通する部分も多く、生命を扱う科学の1分野です。人間に感染する**ウイルスの研究**や、バイオテクノロジーを駆使した**動物の繁殖の研究**も行います。また**薬品開発**などのため、実験動物の命を預って研究していく分野でもあります。一方では、人間の精神生活に潤いをもたらす**ペットの健康**を維持し、動物との触れ合いを促進して社会に豊かな生命観を根づかせるのも、獣医学の使命の一つです。最近では、「**ペットロス**」（ペットを失ったことによる精神的ショック）に対するカウンセリングなど、動物の病気の診断や治療、予防だけでなく、動物にかかわる人間の側にまで対象が広がっています。人間と動物のよりよい関係を考えていくことも、これからの獣医学には求められているのです。

【卒業後の進路】

公務員となって、**畜産試験場**や**保健所**などで働く人が多い。動物実験を必要とする**製薬**や**食品**などの**一般企業**、**牧場**、**民間の研究機関**、**農協**などの**農業団体**、**競馬関係団体**からの求人もある。また、**動物病院**で数年間経験を積み、その後、独立開業する人も少なくない。